

中山金一 議員



戸別補償制度の米の数量目標はどう決めているのか

問

農業者戸別所得補償制度

【関連記事6面】を聞く。

(1) 集落営農方式でも制度を使えるのか。

(2) 生産数量目標をどう決めているのか。

(3) 新規需要米で交付金を受けける方法は。

農業者の水田面積に応じて案分

答 農政課長

(1) 組織の規約、代表者を定めて米の生産、販売の共同経営をすれば対象となる。

(2) 国、県から配分された6,072t、面積換算では1,150haを、市地域

水田農業推進協議会が農業者の水田面積割合に応じ案分する。

ふ頭進入道路の開通見通しは

問

市の幹線道路を聞く。

(1) 名古屋十四山線（六條町地内の未接続箇所）はどんな見通しか。

(2) 鍋田ふ頭進入道路の開通見通しはいつか。

25年度当初ごろの予定である

答 土木課長

(1) 鍋平4丁目から六條町地内の210m区間は、引き続



整備の進む鍋田ふ頭進入道路(写真左は八穂クリーンセンター)

三ツ又池公園の22年度計画は

問

三ツ又池公園について聞く。

(1) 22年度の利用計画

(2) 十四山地区の防災公園として利用できないのか。

COP10に合わせ9月に植樹祭

答 農政課長

(1) 約200人の市民参加による清掃活動、21年度にも施行した芝桜の植樹祭、COP10開催を踏まえた植樹祭を9月ごろに予定している。

各種団体の利用計画として健康づくりフェスティバル、海部地区中学校駅伝大会等が計画されている。

(2) 同公園は遊水池の役割を担っており、海抜マイナス1mと低く、防災公園としての活用は考えていない。

き地権者の了解が得られるよう、(事業主体の)県と協力し、早期完成を目指して行っていく。

(2) 事業主体は名古屋港管理組合である。延長2.3km、幅員25・6mの4車線計画で、暫定2車線での供用開始を25年度初めごろの予定で整備されている。

4車線化の供用開始は未定と聞いている。